

はじめまして

特定非営利活動法人

あかぎの森のようちえん

理事長 櫛島隼人 (ぬでじま はやと)

◆ご存知ですか？『森のようちえん』

【どんな活動なの？】 自然体験を基軸とした子育て・乳幼児の教育の総称です。2000年代に入ってから日本各地で流行の兆しが見えてきて2008年には「森のようちえん全国ネットワーク」が設立されました。全国で170程の団体が活動しています。



【どんなところで活動するの？】



森、野山、里山、畑、都市公園、海、川、等々。自然体験を行える場所ならどこでもOK！

【どんな人がやっているの？】

幼稚園、保育園、認定こども園、託児所、学童保育、共同保育（保護者と保育者）、子育てサークル、子育てサロン、自然学校、NPOなど。本当に様々な大人が、子どもの「豊かな育ち」を願って活動しています。

【対象の年齢は？】

主に、0歳～7歳程度の子どもが対象です。事業の内容によっては、小学校の高学年や保護者を対象とすることもあります。

【由来はどんなもの？】

ドイツで1950年代に始まったと言われていいます。北欧や韓国などでは、制度として認められ、公的支援を受けられるようになってきています。日本ではまだ、数件の実例のみです。



◆『森のようちえん』の特徴

①楽しむために自分で考える（発見と創造）

森（＝自然）の中には限定的な遊びをする遊具などはなく遊びを発展させるためには想像力や発見する力、作り出す力が必要になります。

また、森の中は子どもにとっての未知（不思議）に溢れています。様々な発見すら、遊びとして成立していきます。

②冒険心の発揮と、危険や怖さとの対峙

多様な環境の影響を受けて、冒険心を発揮します。木登り、高いところからのジャンプ。そんな体験を通して、怖さを感じると途中でチャレンジをやめたり、難易度を自分で変えて再チャレンジしたりします。裁量は子どもに委ねられ、決めるのは子ども自身です。



③自然を受け入れ自分を変化させる

自然の秩序や摂理は子どもの価値観に様々な影響を与えます。本来、自然現象を人間がコントロールすることはできないはずで

暑さや寒さ、天候の良し悪しや変化に、活動は多大な影響を受けます。そんな体験から、自分を変化させること（上着着脱・雨具着用など）、そうすることで対応できることを学びます。

参照：森のようちえん全国ネットワークWebページ

◆『あかぎの森のようちえん』事業紹介

①幼稚園・保育園・こども園を対象事業

○森のようちえん・森のほいくえん

②親子を対象にした事業

○森のようちえん～ほんわか～

○おやこキャンプ

③子どもを対象とした事業

○もりっこ ○どれみふぁそらっこ

○あかぎぐんぐんキャンプ

▼詳細は WEB サイトよりご覧ください▼

【 <http://akagi-moriyou.com/> 】

④社員研修講師（チームビルディングなど）

○幼稚園教諭・保育士を対象とした研修

○新入社員を対象とした研修

⑤指導者派遣事業

○自然体験活動に関わる指導

○工作、クラフトなどの指導 等

◆なぜ『森のようちえん』なのか？

山積する社会の課題を解決するために、子どもたちにどんな体験を届けるべきなのか？を考えました。今の子どもたちは「体験不足」「体験の偏り」「命を学習する機会の不足」「三間の不足」などがあると言われています。

①「体験不足」「体験の偏り」→ 体験格差

子どもたちの世界から「直接体験」が減ってしまい「間接体験」が増えています。ネットで調べて知ったことでできるつもりになってしまうなど、本物の体験でない部分からの学習です。学び方が多様になるのは素晴らしいことですが、実際に生かせる知識になっているのか？考えると、少し足りない要素があるかもしれません。森の中の体験は、直接命に触れたり、実際に失敗できることがメリットです。

@「命」を学習するとは何か？

ヒトは、どんな経験をすれば「命」を学習し、大切にできるようになるのでしょうか？賛否はありますが、僕は、子ども時代に自然の中で、意図的・無意識に動植物の命を摘んでしまう経験も、基盤を作るのではないかと考えています。

多くの命と出会い、誕生や終焉を感じ取れる自然の中での遊びが、命はいつか終わるもので輝かしいものだと思わせてくれる気がします。



③「三間」の不足が起きている！？

三間とは「時間」「空間」「仲間」のことです。高度経済成長期はこの3つが保障されていました。現代は犯罪抑止などの視点から、学校が終わったら寄り道せず帰ることを促され、公園などもボール投げすらできないところが増え、声を騒音として捉えられてしまいます。「時間」「空間」が保障されません。さらに、習い事や出生率の低下で共に遊ぶ仲間がそもそも少ないのです。そんな現状を打破するために「キャンプ」はとても便利です。三間を保証するために「手間」が必要な時代なのだと感じます。

~~~~~

僕たちは、これからも子どもたちが「体験から学べる」場作りを続けていきます。

特定非営利活動法人あかぎの森のようちえん  
〒379-2147

群馬県前橋市亀里町 1299-7 エスコンビル

Tel : 090-9006-8711 (代表：ぬで島)

Fax : 027-202-0293

E-Mail : [info@akagi-moriyou.com](mailto:info@akagi-moriyou.com)

Web サイト : <http://akagi-moriyou.com/>

Facebook ページ・twitter アカウント有ります